この度は、「軽水炉利用高度化に対応した線量率低減技術の開発（11）酸化チタン注入適用時の燃料被覆管へのクラッド付着挙動評価」という題目で水化学部会講演賞に選出して頂き、誠にありがとうございます。本研究は、BWR プラント保有電力会社様、日立 GE ニュークリアエナジー様との共同研究として実施した成果をまとめたもので、本研究にご協力頂きましたご関係者の方々には厚く御礼申し上げます。本研究は、BWR プラント再稼働後に、新たな水化学技術を適用した場合の線量率への影響を評価したもので、再稼働が実現した暁には必ず貢献する成果であると確信しております。

今年は東日本大震災から 10 年の節目を迎えます。震災後は、水化学関連の研究を軸とし、福島第一原子力発電所を含む廃炉に関する研究開発に取り組んでまいりました。世界的な脱炭素化への転換期の中、原子力発電も再稼働に向けて前進しています。変化のスピードがどんどんと速まる中、再稼働後の水化学において情勢の変化に対応したタイムリーな技術を提供できるよう研究開発に今後一層邁進してまいります。

東芝エネルギーシステムズ　根岸　孝次